

# 令和3年度「志教育」実践事例報告

宮城県古川工業高等学校 定時制課程

## 【事例1】

『進路ガイダンス』 ※ 宮城県定時制通信制修学指導事業

- 1 目的 実社会における勤労の大切さや社会人としての生き方について考えさせるとともに、職業についてより具体的に理解することで、進路希望実現に向けての意識の高揚を目指す。
- 2 日時 令和3年7月15日（木）17：35～19：20
- 3 講師 ならびに 演題  
大原出版株式会社 手戸 和喜 氏 『就職ガイダンス』  
株式会社昭栄広報 安住さち子 氏 『職業選択のポイント』
- 4 対象 1～2年生 24名 ・ 3年生 9名 ・ 4年生 13名
- 5 内容 1～2年生  
・ 講話『将来の進路選択について』  
3年生  
・ 講話『進路選択に向けて今やるべきこと』（講師本校職員）  
4年生  
・ 講話『職業選択のポイント』  
・ 面接指導

宮城県定時制通信制修学指導事業による取り組みである。1～2年生については実際に社会人として活躍されている方の将来の進路選択に行うべきことについての講話、3年生については本校職員による進路選択に向けて現在行うべきことについての講話。4年生については就職進学試験を直前に控え、より実践的な取り組みとした。

1～2年生・3年生にとっては新鮮な体験であり、将来の進路を考えるうえで大変有意義であった。4年生にとっても就職活動や進学試験を控え、真剣な取り組みとなった。

来年度も継続しての実施を考えている。

## 【事例2】

### 『進路講話』 ※ 宮城県定時制通信制修学指導事業

- 1 目的 本校定時制課程を卒業した先輩方の話を聞くことにより，自身の進路選択の参考とし，進路実現に向けた取り組みへの一助とする。
- 2 日時 平成4年3月17日（木）  
17：35～18：40 ※特編2時間分
- 3 場所 視聴覚室 ※座席は通常の講話時と同様
- 4 対象 1～3年生 33名 教職員 30名
- 5 講師 本校卒業生

講話内容 ・高校時代の生活（含進路活動の状況）  
・就職先での様子  
・後輩達へのアドバイス 等  
※上記内容で一人60分程度の講話の後質疑応答

#### 次第

- (1) 開会
- (2) 講師紹介
- (3) 講話
- (4) 質疑応答
- (5) 御礼

※教室へ戻ってアンケート記入

平成28年度からこの形で実施している。それ以前にも進路講話は実施していたが，講師については本校全日制・定時制を卒業した地元企業の社長や，それに準じた活躍をされている方をお願いしていた。しかしながら，年代的なギャップなどもあり，生徒たちの取り組む姿勢は決して良いものとは言えなかった。

そこで，なるべく近い年代の先輩の話ならば興味と親しみを持って話を聞き，自身の進路についての考えも深まるのではと考えた。実際，この数年の生徒たちの反応を見ると，明らかに取り組む姿勢は前向きになり，実施後のアンケートでも高評価を得ている。

また，在校生だけでなく講師として話してくれる卒業生にとっても，自己を振り返り見つめ直すきっかけになったという意見をもらうことができている。

今後も継続していきたい取り組みである。